警察署からのお知らせ

警察官などを騙る振り込め詐欺が多発しています！！

注意

今年に入り、千葉県内では警察官などの名を騙(かた)った不審電話が多発しており、実際にキャッシュカードや暗証番号を騙し取られる被害が多数発生しています。
警察官や、銀行職員を騙る者が直接自宅に訪れ、キャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞きだしたりすることは絶対にありません。
不審に感じたときは、すぐに１１０番、またはお近くの警察署に通報してください。

「カードを預かります」とうい電話は詐欺!!

・警察官や、銀行協会職員、銀行員などになりすまし、口座番号や暗証番号などを聞き出したうえ、キャッシュカードをだまし取り、預金を不正に引き出す事件が千葉県内で多発しています。

警察官を騙る詐欺の手口

① 警察官や銀行協会職員、銀行員などになりすました者から電話が入る。

「○○警察ですが、振り込め詐欺の犯人を捕まえました。犯人の家を捜索したところ、他人名義の通帳や、キャッシュカードが多数あり、その中にあなた名義の通帳もありました。口座を調べる必要がありますので、あなたが今お持ちのキャッシュカードを貸して下さい。これから銀行協会の職員がご自宅へ伺いますので、その者にキャッシュカードを渡して下さい。」

② スーツ姿の銀行協会職員を騙る者が自宅へ訪れる。

「○○警察から連絡がいったと思います。銀行協会の○○です。あなたのキャッシュカードを預かりにきました。明日には調べ終わるので、キャッシュカードをお返しに参ります。併せて暗証番号を教えてください。」

③ 犯人は預かったキャッシュカードで、すぐに現金を引き出してしまい、もうお金は戻ってきません。

このような電話に対しては　◎暗証番号は言わない！◎キャッシュカードを渡さない　◎すぐに、１１０番！

～緊急通報は１１０番！　相談・情報は最寄の警察署へ～